

# 会議録

附属機関名	おいらせ町行政経営推進委員会	
回 次	平成29年度 第1回	
日 時	平成29年6月29日(木) 15:00~17:40	
場 所	おいらせ町役場本庁舎2階 庁議室	
出席者等	委 員	<b>【出席者】(10名)</b> 樺 克裕/昆 忠彦/苫米地 義之/川越 将弘/西館 あい子/遠藤 律子 高橋 宏典/外井 亜希/小向 憲次/北向 晃 <b>【欠席者】(0名)</b>
	事務局 (総務課)	課長 倉館 広美/課長補佐 岡本 啓一/主任主査 澤頭 玲
	案件(2)説明者 (地域整備課)	課長 澤口 誠/課長補佐 澤頭 則光
	案件(3)説明者 (企画財政課)	課長 成田 光寿/課長補佐 中里 浩/主幹 小向 正樹

内 容	
<b>1. 開会</b>	
※事務局の進行で開会される。	
<b>2. 委嘱状交付</b>	
※三村町長より出席委員に対し一人ずつ委嘱状が交付される。	
<b>3. 町長あいさつ</b>	
<p>まずは、皆様方には大変お忙しい中ご参加いただきありがとうございます。ただ今委嘱状を交付させていただきましたが、平成31年3月末までが任期ということでよろしく願いいたします。</p> <p>皆様方すでに資料に目をとおしておられると思いますのでご承知かと存じますが、この行政経営推進委員会の目的は行政の無駄を廃するということでもあります。将来的に公共施設の老朽化などの問題もありますので、効率的かつ効果的に問題を解決するために多方面・多分野にわたっての行政改革が必要になるかと思えます。</p> <p>行政は広い分野を持っていますので、行政改革を行い最善の方法を見つけながら進めていけるよう取り組んでいきたいと考えております。そのためにも委員の皆様のご経験、知識を存分に出していただきまして、素晴らしい行政経営の形を作っていければと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>	
<b>4. 組織会</b>	
※会長、副会長の選任に先立ち委員・事務局全員の自己紹介を行った。	
事務局	それではさっそく組織会に入りたいと思います。委員長が決まるまで町長に仮議長を務めていただきます。それでは町長の進行でお願いします。
町 長	委員長が決まるまで私が進行をさせていただきますので、よろしく願いします。条例の規定により、「委員の互選」で委員長と副委員長を選任することになっています。どのような方法で委員長を選びますか。委員の皆さんにお諮りします。

委員	事務局の腹案があれば、お聞かせ願えればと思う。
委員	私の意見として、樺先生は八戸学院大学ビジネス学部の教授で行政博士号を持っている方なので、委員長は樺先生にお願いしたいと考えている。
町長	いま、お二方から意見が出ましたが、他に委員の方から意見はございませんか。樺先生のお名前が出ましたが、委員長は樺先生で意義ありませんか。意義が無ければ拍手で承認をお願いします。
委員一同	(拍手有り)
町長	異議無しと認めます。樺先生には委員長として、これからよろしくをお願いします。委員長が議長となりますので、私はこれで仮議長を降りたいと思います。それでは樺先生は委員長席にお移りくださるようお願いいたします。
事務局	委員長から一言就任のご挨拶をお願いします。
委員長	八戸学院大学の樺と申します。おいらせ町で初めて行政経営推進委員会というのが出来たのが前の期だったのですが、その時も力不足ではありましたが委員長を務めさせていただき、今回も引き続き委員長となりましたので、よろしく申し上げます。前回の時は、委員の皆さんの活発な意見を頂けてすごく良かったと感じております。 私は青森県と八戸市でも、同じような委員会の委員をしておりますが、青森県や八戸市ですと行政経営の計画によるPDCAサイクルも5から6期くらいになっておりまして、慣れというようなものも感じられるのですが、おいらせ町の場合はこれから作っていくということになります。委員の皆様のご意見などは非常に大切になると思いますので、今回もよろしく申し上げます。
事務局	ありがとうございました。 町長は公務がございますので、ここで退席となります。
町長	皆さん、よろしく申し上げます。
委員長	それで続きまして、副委員長の選任となります。これも、委員の互選ということになりますが、どのような方法で選べばよろしいでしょうか。委員の皆様にお諮りしたいと思います。
委員	昆委員を推薦したい。元役場職員であり、退職後は青森公立大学で経営経済学の勉強をされているということで、副委員長にふさわしいと思う。
委員長	いま昆委員を推薦したいとの意見がありましたが、ほか何か意見がございませんか。異議が無ければ拍手で承認してくださるようお願いいたします。
委員一同	(拍手有り)
委員長	では皆さん承認していただきましたので、副委員長を昆委員にお願いしたいと思います。では、昆委員に副委員長就任のご挨拶をお願いいたします。
副委員長	委員の方より過分なご推薦を頂き恐れ入ります。勉強し、委員長を補佐していきますので、よろしく申し上げます。
<b>5. 案件</b>	
<b>(1) 行政経営推進委員会及び行政経営計画の概要について</b>	
委員長	それでは今回の行政経営推進委員会に関して、事務局から案件が3つあるということですので、順番に進めていきたいと思っております。

	まず案件（１）行政経営推進委員会及び行政経営計画の概要について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(配付資料を基に内容説明)
委員長	事務局の説明が終わりました。これは何か意見を求めるものですか。
事務局	今回、初めて委員になられた方もいることから、これからどのようなことをするのかなどの報告をしたものでありますので、特段議論等をしてもらう内容ではないです。いまの説明でわからないところとかがありましたら発言していただければと思います。
委員長	初めて委員になられた方で、わからないところなどがあれば発言していただければと思います。何かございませんか。
委員	まず、目的をしっかり持っていただきたいと思う。目標ではなく目的です。目的が明確にならないと目標を定められない、目的がしっかりしていないとどのような目標を立てて、どのように進行していくか、資料に書かれてあるP D C Aサイクルも回らないと思う。
事務局	回答になっているかはわかりませんが、計画を作った目的は、元々行政改革大綱というものが行政経営計画を作る前にありまして、行政改革大綱が出来た背景が町の財源が厳しくなると見込まれる中で、限られた人、もの、金でどのようにして行政運営を行っていくかというものになります。これまでどちらかという削減を目的とした取組みを柱としていましたが、今回作成した計画を行政経営としたのは、ただ削減するためではなく、限られた資源でより良い行政経営を目指すためにどのような計画に基づいて取組みをしていけば良いかを行政経営改革の中で作り、その詳細についてアクションプランとして定めたものであります。
委員	資料の行政経営推進委員会の概要の中の設置目的に「行政サービスの向上を図るための行政経営の仕組みづくりを行うため設置する」とあるが、行政経営の仕組み作りが目的なのか、それとも行政サービスの向上が目的なのか、そこをはっきりしていただきたいと思う。そうでなければ、これから下水道事業の話など色々出てくるみたいだが、そういうことも目的に沿って話をしていかなければならない。目的が明確になっていないと、話があっちこっちに行きかねない。
委員長	目的を明確にするということについて、前の期の話になりますが今ご指摘にあったとおり、結構初めの時にどのような方向で、そもそもこれでP D C Aサイクルを使って何をするのかというのは議論しました。ただおそらく全体としてどういう方向性かということはイメージとしては示せるのかもしれないが、個別具体的にというところは中々難しい。というのは行政というのは分野も多岐にわたりますし各事業の性質もそれぞれ違うからです。結果、他の自治体もまあだいたい同じなのですが、ちょっと具体的なところから始めてみようというところから、行政の方で事業を選定しスタートラインを定めました。計画を5年と設定してまず見ていきましょうという形で、ある意味見切り発車という批判はあるのかもしれないですが、ただそのような事を今まで行政は行ってきていなかったもので、そこは仕方がないのかなと思います。ただ逆に言えば、この2期目の行政経営推進委員会では1期目で決まった計画についてP D C Aのチェックの部分とアクションの部分を行っていくこと

	<p>で、アクションの部分がフィードバックして次のプランに跳ね返っていくことになるかと思います。まあ柔軟すぎるのかもしれないですが、手探りでやっていかざるを得ないかと思います。この委員会に求められているのは、総合計画という大きなものを作るということではなく、もう少し細かく事業ごとに見ていくということが求められるのではないかと。各事業において、いろいろなご意見を言っていただくことにより、事業ごとに目的が定まってくるかと思います。</p>
委員	<p>大筋は、コストの削減をしながらサービスを低下させないということによいのか。</p>
委員長	<p>明確にコストを削減しようと話は前回していないです。私はおいらせ町の補助金等評価委員会にも参加させていただきましたが、その時はこの補助金を削減する、しないという議論をして、結果として行政コストの削減という話になったのですが、この委員会では、少なくとも行政コストを削減するということありきではないと思います。ただ、おいらせ町は合併してもう10年が過ぎまして、合併してから様々な行政上の措置を得られていたために、効率化に向けて考える必要がなかったというのは言い過ぎかもしれませんが、そのようなところが多分にあったのではないかと思います。その行政上の措置がいよいよ終わりを迎えますので、考えていかなければいけないところに来ているのではないかと思います。コストを絶対削減しなければいけないということではなく、場合によってはコストをもっとかけたほうがよいところもあるかと思うので、コスト削減だけにとらわれないで意見を言っていたきたいと考えています。</p>
副委員長	<p>1件ほど確認したいのですが、資料中で計画について評価方法の検討などを行うという記載があるが、先ほどの説明の中に委員会の中で計画の評価を行うとの話もありましたけども、委員会では評価方法の検討を行うものなのか、それとも計画の評価を行うものなのか。</p>
事務局	<p>委員会では、アクションプランの評価を行ってもらうこととなりますが、アクションプランは現在35本あり、それをすべて委員会で評価するとなれば難しいのかなというところもありまして、前に樺先生とお話しした時に、自己評価や取り組み状況が不調なものについて評価してもらうなどという意見も頂きましたので、評価方法についても委員会で検討できればと考えています。</p>
委員	<p>評価となれば、標準というものが必要になってくるかと思うが、ここでは評価の方法の検討なのか、それとも評価をするための標準を作るということなのか。</p>
委員長	<p>我々は議会ではなく、あくまで町長の諮問機関の一つですので、評価というのは極端な話をすれば委員ごとに評価があるものだと思います。ただ、委員会で話し合っていく中である程度意見が収斂されていくのかなと思いますので、何かをかつちり決めていくというよりは、問題点があるところを話し合っていくというところが主になるのかなと。決定機関というイメージではないというのが、前期から委員長をさせてもらっている私の感想です。逆に言えば、委員それぞれの視点からの評価があつて構わないと思いますし、私は財政とかが専門になりますので、どうしてもお金の方向からの視点になりますが、事業というのはサービスを受ける側、サービスの担い手などの視点からの意見も当然反映していかなければならないので、柔軟に考えていただければと思います。</p>

委員長	他に何かございますか。 なければ次の案件に進みたいと思います。
<b>(2) 下水道事業概要説明及び経営戦略作成報告について</b>	
委員長	それでは次の案件に入ります。 案件(2)下水道事業概要説明及び経営戦略作成報告について、事務局より説明をお願いします。
事務局/説明者	(配付資料を基に内容説明)
委員長	いま、事務局から説明をしていただきました。 非常に内容が盛り沢山でしたが、何か確認したいこととかあれば挙手をして発言していただきたく思います。
委員	下水道の事で、下水道をつないだ土地は評価が上がり固定資産税が高くなると聞いたことがあるのだが、なぜ固定資産税が上がるのか、その仕組みを知りたい。
説明者	所管ではないので細かいところまでは分からないのですが、例えば家を建てたいとなった時に上下水道などのハード面が整備された土地は整備されていない土地に比べて価格が高くなっています。すでに投資がされていることにより土地の価値、評価が上がり、そのことによって固定資産税が高くなります。 逆に整備がされていない土地は価格が安い、投資がされていないために土地の価値、評価が低いので固定資産税が安いということになるかと思っています。
委員	専門的なことなので、理解ができないところもあった。下水道事業は当初、国の政策で進めたものでいろいろな地域で事業の進捗があったかと思う。当町は整備人口率88.3%で全国平均並みとの説明があったが、もう少し高いイメージがあった。
委員	公共下水道、農業集落排水ともに計画に基づき進めているようだが、旧下田町の北部地区で行っている農業集落排水事業について、100%整備されていると理解してよいのか。 また、下水道事業の計画について、平成29年度で中止するという話があったが、基本的な話として、コスト削減と住民サービスということは相反するものがあって、下水道事業というのは費用がかかるが、住民が快適な生活を毎日送るためにはぜひ整備してほしいという住民要望があるはずだと思う。ところが、先ほどの説明を聞くと、これまでの投資に対する借金が多く残っているとか様々な要因により、平成29年度で事業は終了するとのことだったので、今後下水道事業は維持管理だけを行っていくということなのか。 あと、もう一つ、財源の確保ということで受益者負担金の未納がどれくらいあるのか。受益者負担金に未納があるということは将来的に事業運営に支障をきたすと思うので、これについては分かったら教えてほしい。
説明者	公共水域の水質保全を図る事業については、公共下水道事業、農業集落及び漁業集落の集落排水事業、合併浄化槽の3つが事業としてあります。県内では汚水処理構想として、この3つの事業で整備された人口が当町では88.3%となっています。 公共下水道事業につきましては、資料3ページの図で示したとおり、旧下田町の

	<p>奥入瀬川沿い、旧百石町の南部と海沿いの地区、これの他に旧下田町北部で、人口増加に伴い農業集落排水で事業展開できなかった部分を全体計画として考えておりました。しかし、公共下水道での整備を進めていく場合、処理は流域下水道ということで八戸市の方までいっておりました、そちらの方まで行くためにポンプ、管きょ等を整備するとなれば100億円くらいの費用がかかる。また、三沢の方も検討しましたが、同じくらいの費用がかかるという試算が出たことと、現在の公共下水道の起債、借金の残高が多いということもあり、残っている部分の整備については全体計画の見直し、計画変更ということで進めていきたいと考えております。その中で平成29年度をもって、ある程度公共下水道の整備が終了するという内容となっています。</p> <p>農業集落排水についてですが、当初計画の3,250人の計画人口に対して、今は100%ということになっています。ただ、農業集落排水の計画地域の人口は、いま約5,500人となっており、2,250人くらいが農業集落排水を使えない状況となっています。その方々については下水道整備についての意向調査を今年度行ったうえで、今後の事業展開を考えていきたいと考えています。</p> <p>あと、受益者負担金の未納ということでお話がありましたが、未納はありますが金額等については本日手元に資料がありませんので、後日回答いたします。</p>
副委員長	<p>資料の説明、ご苦労様でした。</p> <p>担当者が認識している、我が町の下水道事業における経営上の問題点と改善すべき事項について、1分くらいで説明していただきたい。というのは問題意識の抽出度を確認したいのであって、1時間ほどかけて資料の説明をしていただいたが、経営資源そのものというのは人・モノ・金・情報・時間であり、最終的に事務局ではどのような考えを持っているのか。</p> <p>また、私が聞くには、コストそのものに対してこれから使用料等の値上げをしていかなければならないとしか聞こえなかった。もしそうだとすれば、この行政経営推進委員会だけではなく、これから広報やパブリックコメントなど様々な形で住民の同意を得る必要がある。これらの方法についても、今後どのように進めていくのか。この2点について伺いたい。</p>
説明者	<p>説明の方が長くなりまして申し訳ありませんでした。</p> <p>町の下水道事業の経営状況の問題については、多額な事業費が根本にあったと認識しています。町全体が計画となっていたため、今後の維持管理に係る費用も多くなっています。下水道事業というのは当初国策で進めてきたものですので、経営面というのは少しないがしろになっていたのかなと思います。いま収入と支出のバランスを見たときに、一般会計からの繰入金を維持管理等への充当や、下水道事業の借金が全国的に比較しても多い状況であり、このような状況を踏まえ、人口の減少や下水道整備の改築事業などに向けて進まなければならないという将来的なことを考えると、使用料の値上げも検討しなければならないかなと考えております。これをないがしろにすると、一般会計からの繰入金が増え、最終的には一般会計も共倒れになってしまうという可能性も考えられ、それは止めなければならないという認識をしています。また、使用料の見直しだけではなく、維持管理費</p>

	<p>の削減や人口減少等に伴うスペックダウンを的確に行いながら下水道事業が長期にわたって運営していくということを担当課では考えており、その第一歩として、これから使用料の検討を行うこととしています。行政経営推進委員会の皆様にも点検及び意見等を伺いたく思っていますのでよろしくお願いします。</p>
委員	<p>話がずれるかもしれませんが、投資の部分の中では費用対効果とか住民の要望を聞きながら、という話もあったが、先ほどの説明の中で農業集落排水についての比較分析等について説明は省略されましたが、農業集落排水の方の手法であったり技術的な部分、コストの話であったりについて伺いたい。資料を見る限り経費回収率など悪くないように見えるが。</p>
説明者	<p>農業集落排水は公共下水道に比べると経営上は良いということが、お渡しした資料を見ていただければわかるかと思います。水洗化率も高く使用料収入もそれなりに入ってきております。また、公共下水道と比べ効率的に整備できていることにより整備費が少なく済んでいるのかなと思われまますので、類似団体と比べても遜色のない状況であります。</p>
委員	<p>進行について確認したいのだが、案件ごとの時間はフリーなのか。</p>
事務局	<p>案件ごとに時間は定めていませんが、17時終了を目安と考えています。</p>
委員	<p>費用対効果の話も出ていましたけど、下水道事業は事業費が多額であったことによる管理運営費の増大や、借金の返済なども含めて予算が膨大になっており、一般会計からの繰入を行わないと賄えないなどという話が、何か下水道事業そのものが非常に悪者にされているような感じがするのだが、下水道が普及したことにより海・川などの自然が守られかを認識してもらわないと。費用がかかるから、借金があるからといって事業を見直しするという、確かに当時は事業費が多額であったかもしれないが、下水道の効果というのもの、もう少し考えて見直しを検討したほうがよいのではないか。</p>
委員	<p>下水道を設置すると土地の評価が上がり固定資産税が上がると最初の方に話が出ていましたが、いま他の委員からも話が出ているように、借金が多いなどいろいろな問題が出ている中で、受益者負担ということなので、下水道を設置したことによって文化的に良い生活ができている方に説明する責任があるのではないか。町の状態がこのような状態ですので、町民の皆さんよろしくお願いしますと説明責任をきちんと行っていけば、設置している人たちは拒否することは出来ないと思うし、しっかり説明を行っていけば住民は受け入れてくれると思う。</p>
説明者	<p>委員の方がおっしゃるように、生活環境の改善、公共水域の保全ということで、当初昭和60年代から下水道の整備はされております。その当時であればトイレは通常汲み取り式またはトイレのみの浄化槽の設置という状況でした。これだけであれば、やはり公共水域の保全等は図れませんでしたので、公共下水道というのは非常に良い事業であったと感じております。当町の下水道整備は結構進んでいる方で、近隣自治体では事業の一部休止であるとかスローダウンしているため、逆に当町と比べると借金の残高が少ないという形になっています。当町の場合は平成一けた台の事業の促進という丁度良い時期に事業の進捗を行っていますので、借金の残高の面では多く残っている形となりますが、水質保全を図るうえでの事業展開は出来た</p>

	<p>のかなと思っております。</p> <p>後は先ほど委員の方からお話のあった受益者という部分の話もありますので、当然使用料で賄う経費がどのくらいあるのか、近隣自治体の使用料の状況などを示しながら、例えば当町の下水道の基本料金は2,400円で、総務省が目安としている標準的な基本料金3,000円より安い設定になっていますが近隣自治体の基本料金は当町と同程度なっていることなど、様々な面を比較検討しながら住民へは下水道事業が今後どのような形で進むべきか、また使用料の値上げを行わなければならない場合は説明を行うなど、今後は考えていきたいと思っています。</p>
副委員長	<p>下水道の計画そのものというのは、他の委員からも話があったとおり私たちの生活をしていくうえで必要なものである。計画は高度経済成長期に立てられたもので国の予算の配分によって事業が成り立ってきた。しかし、地方の人口減少が進み利用者が減るといった状況の中で、どのようにしてやっていくのか地域経営の発想というものが出てくると思うが、その中で一番必要なのが、おいらせ町がどういう方向に向かっていくのかということについての説明責任と情報公開が一番大事になる。人口が減っていく中、維持していくためにはコストがこれだけかかるということを理解してもらうために、さまざまな媒体を使って常に住民にお知らせをしていく必要がある。役場の一部でとか委員会で決めたからではなく、常に状況そのものを利用者、住民に対してお知らせをすることが必要である。</p>
委員長	<p>費用と便益という話で、下水道事業というのは便益があるのが普通なのですが、ただ、ちょっと言い方が悪いかもしれませんが、費用を町民の方があまり負担していなかった現状があるのかなと。結果、財政的にもかなり厳しい状況になっているのかなと思いますので、そこは説明していくほかはないのかなと思います。</p> <p>何年前かに下水道の補助金について説明を受けたのですが、その時においらせ町は八戸市より下水道の普及率が高いということ、誇らしい感じで話していました。それはそのとおりだと思うのですが、結果としての現在の状況であるのであれば、それは豊かな環境を得るための代償なわけですから、そこは住民の方も負担しましょうという話になるのかなと思います。もっと正々堂々というのは正しい言い方かわからないですが、やむを得ないというよりは、いまこのような状況なので助けてくださいという言い方のほうが住民の理解も得られるのかなと思います。</p>
委員長	他に何かございますか。
委員	説明責任の話の延長で行くと、地方債の償還費の増加が一番のネックになるのかなと感じるのだが、残高が高いためとだけ記されていて、利率が高くて残高が高いのか、利率が低くて残高が高いのか、一般企業であれば借り換えをして償還費の削減を図るべき最重要なところに何ら説明が無いので、このことについても住民の説明の中に加えるべきだと思う。
委員長	他に何かございますか。 なければ案件(2)下水道事業概要説明及び経営戦略作成報告についてはここまでとして、次の案件に移りたいと思います。
説明者	ありがとうございました。
<b>(3) 個別施設計画策定方針の報告について</b>	

委員長	引き続きまして、(3) 個別施設計画策定方針の報告について、事務局より説明をお願いします。
事務局／説明者	(配付資料を基に内容説明)
委員長	事務局の説明が終わりました。 ご意見等ございましたら挙手して発言していただければと思います。
委員	資料1 2ページに書いてある評価基準の数値化ということで建物評価についてですけれども、説明の中でも耐用年数で判断するという話でしたが、例えば分庁舎は耐震補強などを行っているので評価というか価値が変わってくると思うが、そのような部分はどのような形で数値化に反映されるのか。
説明者	本来、建物の耐用年数は耐震化とか補修とかを行えば伸びていくのですが、それを正確に判定するとなれば委託などを行い調査しなければならず、相応に費用がかかることになりまして、耐震化や補修などを行っているものばかりでなく、行っていないものもありますので、一律国の省令の耐用年数の基準で一旦評価し、その中で耐震化や長寿命化等を行っている場合は、その旨を施設の方針結果等に記載していただくという形で考えています。
説明者	補足しますと、資料1 4ページに建物評価の計算式を記載していますが、一律この計算式で計算していただきます。いま分庁舎の例が出ましたが、分庁舎は耐震診断を行い危険ですよと判定が出ていましたので、耐震化を行ったということを説明書きで加える形になります。建物評価の数値はそのまま耐用年数で計算して出してもらい、何年度に耐震化や長寿命化を行ったということを説明書きで加えるという形で考えています。
副委員長	いま話を聞いて、手続きと過程を重視しているなという感じがするが、どちらかというと行政内部というか議会に対しての手続きは理解できるが、果たして住民の視点に立っているのだろうかというところが疑問に感じる。いま話題になっている高校の再編計画がそうなのだが、あれは手続き重視であって地元の意向を聞いているわけではない、答えありきである。公共施設そのものは社会資本、公共財なので、行政のものでもあるが住民のものでもある。その公共施設が存続していくために、コストを誰がどのように負担していくのか、もしかしたら住民側からコストを負担してもいいから施設を存続してほしいという話が出るかもしれない。今の説明を聞くと管理的なものの思考で、答えありきで削減していかなければならないという考え方に聞こえるが、行政経営という話なので、経営の考え方そのものには限られた資源の中で住民の満足度をどのように高めていくかということが問われると思う。 そこで確認なのだが、渡された資料の計画策定のスケジュールを見るとパブリックコメントが1回だけとなっているが、これをもって住民からこれから公共施設の運営についてどのように行っていくのかということに対する意見聴取をしたこととするのか。 もう1つが評価方法について、評価そのものは行政が決めて行政内部で評価するのか。それとも住民を交えて評価するのか。この2点について教えていただきたい。
説明者	まず、住人に対する理解についてですが、個別施設計画の案を取りまとめた際にパブリックコメントを行い、意見をいただくことしていますが、その前段で各施設

	<p>についてどのような方向性にするのかというのを、各施設の所管課に作成してもらいます。その過程の中で施設の利害関係者、利用している関係団体と協議や意見聴取を行うことを原則としています。例えば体育施設に関しては普段から施設を利用している人たちの声を聴くとか、公民館であれば利用している団体との意見交換を行うとかというようなことを、各施設の方針を作成する際に行うこととしています。全町民からの意見をいただけるかとなると、ちょっと弱い部分もあるかもしれませんが、その施設ごとに関わる人たちの意見、声を聴くという想定をしています。</p>
説明者	<p>評価基準の点数の関係ですが、個別施設計画の策定方針の中で基準を作りましたので、この基準に基づき一旦機械的に点数を出していただくこととなります。その点数により4つに分類した結果と実際の方向性の結果は、おそらく変わってくるのではないかなと考えています。経営とすれば本来そのまま耐用年数が低い建物については廃止等をしたほうが町としても良いのかもしれませんが、利害関係者や施設を利用している人たちもいますので、方向性の結果については違ってくるのかなと思います。その点については、集約して調整等を行わなければならないのかなと考えています。</p>
説明者	<p>補足しますと、機械的に計算で数字を出す評価と、利害関係者や施設を利用している人たちの意見、声など、いわゆるソフトの部分を加味して最終的にどうするかという、2つの要素で方向性を出すというイメージで考えています。</p>
委員	<p>とりあえずは数値化というか、点数を出して作っていかないと議題にも上がらないことだと理解するのだが、そうすれば点数だけによって統廃合するというのではなく、必要に応じていろいろな手法や地域の方々の関わり方で、方向性が変わってくるということでは理解してよいのか。</p>
説明者	<p>そのような可能性もあります。</p> <p>ただ、すべての個別施設計画を集めた時に、どの施設も存続ということでは、統廃合等が一切ないということになると、今後10年20年先を見たときに、財政的に立ち行かなくなる可能性があります。</p>
委員	<p>この間、県構造政策課の、まさしく県のこれからのあり方とか職員の方と議論ではないですが話をしまして、県政自体はどんどん縮小していく中で、持っている資産、お金なり人なり地域なりいろいろあり、縮小していくのはやむを得ないのだが、どのような組み合わせの中で活躍の仕方とか住みやすさというのを作っていかうという考えでしかない。となれば、今の古くなった部分を活かせるものは活かすというのは、壊すというのではなく工夫して考えていくことによって、町民から見ても地域から見てもうまく機能するようにすべきだと思うのだが。それが不可能であれば仕方のないことだが、そこを目指したたたき台のようなものであればすごく良いのですが、とにかく一律縮小していくということなのか。</p> <p>おいらせ町は青森県の中では恵まれている方だと思う。それこそ近隣の自治体の方と話をすれば、施設が公有ではないとの話も聞きますので、住民との関わり方とかでまだまだ良い方法が出せるのではないかと感じている。</p>
説明者	<p>すべての個別施設計画を集めてみないとわからない部分もありますし、公共施設等総合管理計画で施設の更新費用が10年間で58億円不足するという試算の結果</p>

	<p>も総務省から出された基準を当てはめて試算したものになりますので、実際はそれほど費用がかからないのではないかとこのところもありますので、そのような事も含めてまずは一つの方向性を出してみたいと考えています。計画は随時見直ししていくこととしていますので、今後財政状況が好転する可能性もありますし、まず今は何もたたき台が無い状態なので、ここからスタートしたいと考えています。</p>
委員	<p>全く関係が無い話になるかもしれないが、イメージとして将来が明るいという気持ちになれない。施設の更新にお金がかかる、基準があってそれを計算して建物というのはこれだけお金がかかるのだということを知ると、将来真っ暗なのかと感じる。これには何らかの原因があると思う。原因が無かったら結果ということは出てこない。その原因は何かということを考えてみる必要があるのではないかと。行政経営という言葉に直接的ではなくても間接的に影響するかとと思うが、要は結果というのは原因があってこそその結果なので、そこをよよく考えていかないと結局お金がかかってどうしようもないから縮小しかないということになる。そのような面から考えると一所懸命やってきた割にはお先真っ暗だと感じてしまうので、行政経営すべてひっくるめて、将来どうしたら明るくなるかという方法を真剣に考える必要があるのかなと思う。</p>
説明者	<p>この計画そのものは、どちらかというマイナスイメージが強い計画となっています。</p>
委員	<p>企画財政課と地域整備課では、いい意味でこれから暮らしやすく雇用もあって活性化ができるような政策もとっている。</p> <p>地域整備課がいま手がけている都市計画なんかは、ある程度柔軟な対応で、もっと良い町を作ろうという形で全国でも2～3例くらいしかないような、という流れで進めているので、そういうところでは明るいと言えるものもある。</p>
委員	<p>平成18年に合併して総合計画が出来て、その他にも自治基本条例だとか色々なものが出来上がってきて、将来こういう町にしたいという考え方なのは分かるのだが、現状はどうかということです。例えば自治基本条例を見ると、条例は作ったもののどこまで進んでいるかという、ほとんど進んでいるようには感じない。自治基本条例は企画財政課で作ったものですね。</p>
説明者	<p>最初作った時は企画課でしたが、現在はまちづくり防災課に所管が変わっております。</p>
委員	<p>向いている方向は分かるのだが、確かにそのような方向で動いていかないと、お先真っ暗でやる気をなくするので、では具体的にどこまで進行していて、どこで検証されて、どこで見直されているのか、そういうのはないのか。</p>
説明者	<p>計画の体系について資料にも載せておりますが、町の最上位計画として総合計画というものがあります。町の将来をどのように作っていくかという計画になります。それが平成31年度から新たな計画を開始するために、今年度と来年度の2か年をかけて、地域の人たちや関係団体との意見交換等を行いながら、作成する予定です。</p>
委員	<p>広報に委員の公募の記事が載っていましたね。</p>
説明者	<p>将来を見据えた明るい計画も作成している段階ですので、今回の案件である公共施設等総合管理計画は、どちらかという危機感を持たせるための計画と言えます</p>

	<p>か、要は国の方でも地方財政に出すお金についてどんどん削減の方向に向かっていますが、戦後に施設を作れと国の方から発破をかけられたのでしょけれども、それが結果的に財政を圧迫してきている状況になっている。このままでは立ち行かない状況になりますので、それはもう全国規模、全国すべての自治体が一緒になって危機感を持ちましょうというのが、この計画なのかなと感じています。</p> <p>もうすでに、財政も厳しくなっており地方債発行もどんどん増えていきますので、いま抱えている施設をそのまま所持していると立ち行かなくなるので、今のうちから10年20年先を見据えて、施設の統廃合やスリム化を目指しているものです。</p>
委員	<p>それよりも人口を増やすことを考えなければならないのではないかと。あくまでも試算上だが、これからどんどん人口が減って、あと40年もたてば4～5千万人は減少するということを考えれば、人口の話が一番難しいのではないかと。</p>
委員長	<p>今回説明していただいたものは、これから計画を作る方針ということですよ。</p>
説明者	<p>これから個別施設計画を作るための事前の説明と言いますか、方針の説明ということですか。</p>
委員長	<p>時間がかかり押ししてしまいましたが、案件（3）個別施設計画策定方針の報告については、ここまでとしたいと思います。</p>
説明者	<p>ありがとうございました。</p>
<p><b>5. 今後のスケジュール</b></p>	
委員長	<p>それでは、次の今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(配付資料を基に内容説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会について今年度は3回開催する予定であり、次回開催は10月を予定。</li> </ul>
委員長	<p>今日の案件はすべて終了しました。事務局から他に何かありますか。</p>
事務局	<p>今日、会議が始まる前に委員の方から言われたのですが、資料を綴るファイルがほしいという話でした。委員の皆さん必要ですか。</p>
委員	<p>(紙ではなくデータでほしいという声上がる)</p>
事務局	<p>データでほしいという方は、会議の時に資料をどのようにもってきますか。タブレット端末等を使うのでしょうか。</p>
委員	<p>(タブレット端末を使うとの声上がる)</p>
事務局	<p>それでは、資料の媒体について紙かデータかどちらで配布してもらった方が良いのかと、紙の資料を綴るファイルが必要かどうかについて、後日アンケートを取りたいと思います。</p>
委員	<p>会議の時間が3時からというのは固定ですか。</p>
事務局	<p>3時開始で5時終了と2時間で会議を終わらせる目的で、昨年度から3時開始で固定しています。</p>
委員	<p>今日の会議が5時を過ぎた原因は説明の長かった案件があったためであり、資料も事前配布され委員も目をとおしてきているのだから、もう少し説明を省略しても良かったのではないかと。</p> <p>そういう会議の進行を出来れば時間内に終われると思うので、私は今迄通り15時開始が良いと思う。</p>
委員	<p>いま委員の方が半分改選になっており、私も新しく委員になっているので3時開</p>

	始の理由がわからない。2時開始でも良いのではないか。
事務局	資料配布等のアンケートの際に、併せて開始時間についてもアンケートを取りたいと思います。
副委員長	<p>おそらく、議事進行を行う委員長の権先生みたいに大学の先生というのは2時半くらいに終わると思わる。委員長不在で会議を行うわけにもいかないという理由もあったのかなと思う。</p> <p>あともう一つ、今日もそうだったのだが、一つの案件に対して説明はどんなに長くても30分、議論も30分で、1時間くらいで終わるといような形で決めておかないと、3時間も会議が続くとやはり集中力が途切れてしまう。せいぜい2時間くらいがいいところだと思うので、もう少し説明を上手に行っていただきたい。資料には目をとおしてきているので、言いたいことは何なのかということが伝わるようにしてほしい。</p> <p>会議の運営方法をもう少し工夫すれば、効率的で中身の濃い議論ができるのではないかと思う。</p>
事務局	事務局として、気を付けたいと思います。
委員長	では、これで終了ということで宜しいですか。
事務局	<p>今日はお忙しい中ご出席いただき、また貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。</p> <p>次回の日程につきましては委員長と調整した上で、できるだけ早く皆さんにお知らせしますので、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは修礼で会議を閉じますので、ご起立ください。</p>
一同	ありがとうございました。